



出雲市立 出雲文化伝承館

今に息づく出雲屋敷



出雲文化伝承館は、出雲平野の大地主であった江角家の長屋門や母屋、庭園、松平不味公ゆかりの茶室「独楽庵」、現代建築の茶室「松籟亭」、美術工芸品の展示施設などがある博物館です。敷地の北と西側には、冬の強い季節風を防ぐための屋敷林「築地松」を配し、この地の典型的な屋敷構えを今に伝えています。座敷に上がり庭を眺めながら、悠久の時間の流れをお楽しみください。

さらに少し足を延ばすと、近世から受け継がれた建物が点在し、今でも人びとの暮らしを育んでいます。

The Izumo Cultural Heritage Museum includes the gate house and the former main house of the Ezumi family, wealthy landowners of the Izumo area. On the property there are also Japanese-style gardens, the Dokuraku-an tea house treasured by feudal lord and tea master Matsudaira Fumai Ko, the contemporary Shorai-tei tea house, and arts and crafts exhibition facilities. On the north and west sides of the museum grounds, there are walls of black pine trees called "tsujimatsu," which protect the estate from strong winter winds: a classic landscape feature of the Izumo area, still used to this day. Go up into the tatami room of the main house, look out onto the garden, and enjoy the sense of time endlessly flowing by.

In the neighborhood around the museum, you will find many homes in the same architectural style, passed down since the early modern period. This building style is still a part of daily life.

O Museu da Herança Cultural de Izumo é um museu histórico com instalações que exibem trabalhos artísticos e artesanais. O museu conta com o portão, a casa principal, o jardim, a sala de chá "Dokurakuan" (ligada a Matsudaira Fumaiko) da família Ezumi, proprietária da Planície de Izumo e a sala de chá de arquitetura contemporânea "shoraitei". Nas partes norte e oeste da residência há os "Tsujiimatsu", estruturas de árvores criadas para evitar as fortes monções do inverno. Sinta o tempo passar enquanto relaxa sobre o tatame e aprecia a vista para o jardim. Nas proximidades do museu estão dispostas construções modernas presentes na vida da população nos dias atuais.

出雲屋敷 市指定文化財

1896(明治29)年に建てられた江角家(斐川町)の母屋を移築したものです。南に面する大戸口を入ると、広い土間に立派な檜の黒柱、また重厚な黒松の梁組が屋敷の風格を物語ります。建物の南側は書院と座敷が続く三間造りで、出雲流庭園が見渡せます。



出雲流庭園 市指定文化財

典型的な出雲流の平造り枯山水の回遊式庭園です。出雲地方特有の築地松を廻らせ、主木のクロマツに常緑樹を添え、巨大な短冊石や飛石を配しています。また蹲や手水鉢など茶庭の要素も取り入れています。



独楽庵 (復元)

大名茶人として著名な松江藩七代藩主・松平不味によって大切に護り伝えられた名席です。露地庭は三関三露と称される導入部を配し、不味公の茶の湯に対する美意識が反映されています。



新春特別展 2022年1月8日(土)~2月27日(日)

「猛虎と郷土の美術 -私のコレクションⅢ-」

愛好家の所蔵品から干支の虎と郷土ゆかりの美術工芸品の優品を紹介します。

要観覧料



出雲文化伝承館

Izumo Cultural Heritage Museum

開館時間 / 9時~17時(入館は16時30分まで)

休館日 / 毎週月曜日(祝日は開館)・年末年始

〒693-0054 島根県出雲市浜町520番地
TEL(0853)21-2460 FAX(0853)21-4165
<https://www.izumo-zaidan.jp/izumodenshokan/>



入館無料





出雲文化伝承館 周辺のみどころ

近世から受け継がれた暮らしの建物

※建物内は公開していません



ま ない しや け どお 真名井の社家通り

P なし

出雲大社の門前町には、神官の住居である「社家」が残っています。特に、北島国造館前の真名井の社家通りは、門塀を備えた典型的な社家屋敷が残っており、清閑な佇まいが往時を偲ばせます。通りの東にある命主社や真名井の清水とともに、多くの人が訪れる人気スポットです。



GoogleMAP

とう ま け じゅう たく 藤間家住宅

県指定文化財

P なし

酒造業や廻船業を営んだ豪商で、本陣(松江藩主の宿)や勅使の御本営も務めました。江戸時代中期の主屋は、木造妻入、本瓦葺の土蔵造で、豪快で堅牢な構造を持つ大型商家です。西国からの参詣道に面して構える「勅使門」は幕末の歴史を今に伝えています。



GoogleMAP

ひ で かん 日の出館

国登録文化財

P なし

江戸時代後期に北側の馬場通り開通とともに建てられた旅館です。明治期に明治棟を増築し、1914(大正3)年に神門通りが開通すると、玄関を西側の神門通り沿いに移すため玄関棟と大正棟が増築されました。増改築の歴史が出雲大社参詣道の変遷を物語っています。



GoogleMAP



JAPAN CULTURAL EXPO



文化庁



出雲市

令和3年度日本博主催・共催型プロジェクト
主催:文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会、出雲市

アクセス情報

出雲文化伝承館から

出雲大社まで	5.0km(車で10分)
古代出雲歴史博物館まで	3.9km(車で7分)
神門通り交通広場駐車場まで	4.3km(車で10分)
日の出館まで	4.2km(車で10分)
藤間家住宅まで	4.4km(車で10分)
(神門通り交通広場駐車場から徒歩8分)	
真名井の社家通りまで	4.3km(車で10分)
(出雲大社の東隣接)	